

わくわく！



令和8年2月3日
中野区立緑野小学校
校長 太巻 美青



ごみのん

1月26日（月）から30日（金）は、全校学校給食週間でした。これは、給食の役割について考えるものです。学校給食の学習指導要領上の位置づけについては、校長室だよりわくわく！No.93に記載いたしましたので、ご参照ください。

この期間、学校にごみのんがやってきました。ごみのんは、ごみ減量を呼びかける中野区公式キャラクターです。この期間に給食を頑張ったクラスの給食ワゴンには、ごみのんが乗ってきたのです。そして毎日、ごみのんによるお昼の放送が放送されました。

ワゴンに乗ってくるごみのんは中野区からいただいたフィギュアでしたが、さっそくたくさんのクラスが給食を頑張り、いただいた数では足りず、紙粘土でごみのんを増産しました。給食準備の際にワゴンにごみのんが乗ってくると、子どもたちは「ごみのん、来た〜！」と大喜びでした。そしてこの期間、子どもたちの一番の関心事は、「放送で子どもたちに語りかけるごみのんの正体は誰なのか？」ということでした。「ごみのんは秀茂先生ですか？」「深谷先生ですか？」という質問が寄せられましたが、お昼の放送では「ごみのんは、ごみのんだよ。」とのお返事がありました。週の後半になると、子どもたちからごみのんへのお手紙がたくさん届きました。その一部をご紹介します。



ごみのんがいなくなっても、給食を頑張ってください。

ごみのんへ
どうやってにがてなもののをのりこえたの？

ごみのんへ
ごみのんのためにクラスみんなががんばってくれました！
これからもがんばります！
ごみのんもがんばってください！

ごみのんへ
いつもごはんをのこさないようにしてありがとうございます。

ごみのんへ
ごみのんが来てから、苦手なものも食べられるようになりました。ところでごみのんはどこに住んでいるんですか。



ごみのんへ
いつも教室を笑顔にしてくれてありがとう！私はきのこの味、見た目、におい、食感のすべてがきらいです。なので、好きなものと一緒に食べてもきのこの味がちます。どうしたらいいですか。

ごみのんへ
うちのクラスにきてくれてありがとう。ごみのんはほうそうが終わったらどこに行くのですか。

竹馬がやって来ました

校庭遊びのバリエーションを広げるために、竹馬を購入いたしました。これは、中野区よりいただいている予算「子どもの意見を反映した教育活動」について、代表委員の子どもたちと相談し、「みんなが外で元気に遊べるような道具を買おう」ということになりました。2月2日（月）より使用開始となりましたが、さっそくたくさん子どもたちが竹馬で遊んでいました。「先生！うちには竹馬があるよ！おじいちゃんが作ってくれたんだよ！」という子どももいました。直に竹馬名人が生まれそうですね。



テーマは「卒業」

6年生の英語の時間です。この日は、“I want to join the●●club.”と、中学校に入ってからのような部活に入りたいか話し合いました。先生たちが中学校の時に何の部活に入っていたのか、というクイズもあり、盛り上がりました。この時期になりますと、6年生の学習では様々な場面で卒業を意識したテーマが見られます。一日一日、卒業に近づいていきます。



企画立案

5年生が「未来イノベーター」という学習に取り組んでいます。これは、自分たちが学校や地域のために何ができるか考え、それを企画立案し、実行しようというものです。高学年らしい内容です。企画立案した子どもたちはプレゼンを作成し、校長室に説明に来ました。実際に実行可能か、安全等で問題はないか校長に確認し、許可を得るためです。この日は、「下校の時に道路のごみを拾いたい」という企画の説明に来てくれました。校長からは、授業時間外であり、学校外であるため、安全にどのように配慮するのか再度考えるよう、伝えました。これを受け子どもたちは、後日改めて改善案の説明のため、校長室に来ました。ここでは「それなら安全！」と思える案を提案することができました。頼もしい高学年が育っています。

